

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2024 年 4 月 25 日

都道府県知事 殿

病院名 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院
開設者 理事長 東上 震一

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、**1.** 研修プログラムの変更、**2.** 研修プログラムの新設を届け出ます。
（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院 **2.** 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

記入日：西暦 2024 年 4 月 25 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030280	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 番号
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ カハラ シンペイ 氏名(姓) (名) 菅原 俊平	役職 臨床研修管理室 主任 (内線 9196) (直通電話 (0467) 46-9886 e-mail : kenshu@shonankamakura.or.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。))	
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ イリヨウホクジンクシュウカイ ショナンカマクラソウゴウヒョウイン 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 247-8533 (神奈川県 鎌倉市岡本 1370-1) 電話 : (0467) 46 - 1717 FAX : (0467) 45 - 0190 二次医療圏 の名称 : 横須賀・三浦		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ イリヨウホクジンクシュウカイ リツチョウヒガシイシイ 医療法人徳洲会 理事長 東上 震一		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 901-0493 (沖縄県 島尻郡八重瀬町字外間 80 番地) 電話 : (098) 998 - 3221 FAX : (098) 998 - 3220		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ コハヤシ 姓 小林	シュウゾウ 名 修三	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	https:// www. skgh. jp		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 030280 臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

	※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤： 272 名、非常勤（常勤換算）： 38.88 名 計（常勤換算）： 313.88 名、医療法による医師の標準員数： 67 名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A-3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2022 年 4 月 5 日、告示番号：第 176 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 (3) 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	(1) 有 (2,307.45) m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 58,505 件（うち診療時間外： 39,021 件） 1日平均件数： 160 件（うち診療時間外： 107 件） 救急車取扱件数： 22,387 件（うち診療時間外： 14,361 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 4～11 名、看護師及び准看護師： 6～9 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 (1) 有 0. 無) 外科系 (1) 有 0. 無) 小児科 (1) 有 0. 無) その他 ()
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 659 床、2. 精神： 10 床、3. 感染症： _____ 床 4. 結核： _____ 床、5. 療養： _____ 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 9.7 日、2. 精神： 27.8 日、3. 感染症： _____ 日 4. 結核： _____ 日、5. 療養： _____ 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 352 件、異常分娩件数： 136 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 12 回、今年度見込： 12 回 ※報告・届出病院の主催の
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入 下に開催した回数を記入
	剖検数	前年度実績： 18 件、今年度見込： 20 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 (1) 有 0. 無 () 大学、() 病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	(1) 有（単身用： 40 戸、世帯用： _____ 戸） 0. 無（住宅手当： _____ 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	1. 有 (_____ 室) (0) 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	(31.6) m ²
	医学図書数	国内図書： 2,207 冊、国外図書： 23 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 75 種類、国外雑誌： 430 種類
	図書室の利用可能時間	7:00 ～ 22:00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース (1) 有 0. 無)、教育用コンテンツ (1) 有 0. 無)、 その他 () 利用可能時間 (0:00 ～ 24:00) 24時間表記
医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター (1) 有 0. 無)、 その他 ()	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030280 臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フリガナ フジタ ヒデキ 氏名(姓) 藤田 (名) 秀樹 役職 事務次長												
	診療に関する諸記録の管理方法	① 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)												
	診療録の保存期間	(永久) 年間保存												
	診療録の保存方法	① 文書 ② 電子媒体 その他(具体的に:)												
19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理者の配置状況	① 有 (4 名) 0. 無 <small>有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</small>												
	安全管理部門の設置状況	職員：専任 (3) 名、兼任 (1) 名 主な活動内容：例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 ・ 毎月の医療安全委員会でインシデント事例を共有。全職員向けに年間2回の医療安全研修を実施。 ・ 院内発生の医療事故の分析を行い、具体的対策を実施して再発の防止。 ・ 医療安全情報の発信・研修及び教育を行い、医療事故の防止。												
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等： フリガナ ｸﾚ トｶ 氏名(姓) 黒瀬 (名) 徹 役職 副主任 対応時間 (8 : 30 ~ 17 : 00) 24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無： ① 有 0. 無												
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	① 有 0. 無 指針の主な内容： 安全な医療を提供するための9章からなる指針												
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 (12) 回 活動の主な内容： 院内において発生した医療事故又は発生する危険のあった医療事故についての情報収集・共有及び分析・対策の立案・結果・評価												
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 (2) 回 研修の主な内容： 外部講師などやe-learning 職員全体の研修の実施												
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備： ① 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容： インシデント報告システムによるデータ解析を行い、各部署単位にて医療安全の対策強化と改善を図る												
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		修了： 22名 中断： 1名												
21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>当該年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td>23</td> <td>22</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>20</td> <td>23</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>		前々年度	前年度	当該年度	1 年	23	22	23	2 年	20	23	22
	前々年度	前年度	当該年度											
1 年	23	22	23											
2 年	20	23	22											
22. 受入可能定員 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 (669) 床÷10 = (66) 名												
	患者数から算出	年間入院患者数 (24,502) 人÷100 = (245) 名												
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>(基幹型・協力型記入)</small> <small>精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。</small>		1. 精神保健福祉士： 1 名 (常勤： 1 名、非常勤： 0 名) 2. 作業療法士： 32 名 (常勤： 32 名、非常勤： 0 名) 3. 臨床心理技術者： 1 名 (常勤： 1 名、非常勤： 0 名) 9. その他の精神科技術職員： 0 名 (常勤： 0 名、非常勤： 0 名)												

24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況

(基幹型記入)

有 (評価実施機関名: NPO 法人卒後臨床研修評価機構(2020年11月11日))

無

有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。

受審状況有りの場合、結果の公表 有 無

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※	
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 <small>(基幹型記入)</small>			* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>			女性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名 男性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	院内保育所		院内保育所の有無 (1) 有 0. 無) <small>有を選択した場合、開所時間を記入してください (時 分 ~ 時 分)</small> 病児保育 (1) 有 0. 無) 夜間保育 (1) 有 0. 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1) 可 0. 不可)
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 (0) 無) その他の補助 (具体的に:)
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所 (1) 有 0. 無) 授乳スペース (1) 有 0. 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)		()
	研修医のライフイベントの相談窓口		(1) 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 () 窓口の専任担当 (1) 有 (1 名) 0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入 (ハラスメント委員会) 窓口の専任担当 1. 有 (名) (0) 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。			
28. 研修プログラムの名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small> プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称： 湘南鎌倉総合病院 初期臨床研修 基本プログラム プログラム番号： _____
29. 研修医の募集定員 <small>(基幹型記入)</small>			1 年次： 19 名、2 年次： 19 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 <small>(基幹型記入)</small>	研修プログラムに関する問い合わせ先		フリガナ カワラ シュンペイ 氏名 (姓) 菅原 (名) 俊平 所属 臨床研修管理室 役職 主任 電話：(0467) 46 — 9886 FAX：(0467) 45 — 0190 e-mail：kenshu@shonankamakura.or.jp URL：http://www.skgh.jp
	資料請求先		住所 〒 2 4 7 — 8 5 3 3 (神奈川 都・道・府・県) 鎌倉市岡本 1370-1 担当部門 担当者氏名 臨床研修管理室 フリガナ カワラ シュンペイ 姓 菅原 名 俊平 電話：(0467) 46 — 9886 FAX：(0467) 45 — 0190

		e-mail : kenshu@shonankamakura.or.jp
		URL : http://www.skgh.jp

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） <small>（基幹型記入）</small>	募集方法	<input checked="" type="radio"/> 1. 公募 2. その他（具体的に： _____）		
	応募必要書類 <small>（複数選択可）</small>	<input checked="" type="radio"/> 1. 履歴書、 <input checked="" type="radio"/> 2. 卒業（見込み）証明書、 <input checked="" type="radio"/> 3. 成績証明書、 <input checked="" type="radio"/> 4. 健康診断書、 <input checked="" type="radio"/> 5. その他（具体的に： 推薦状 _____）		
	選考方法 <small>（複数選択可）</small>	<input checked="" type="radio"/> 1. 面接 2. 筆記試験 その他（具体的に： _____）		
	募集及び選考の時期	募集時期： 4月 1日頃から 選考時期： 7月 20日頃から		
	マッチング利用の有無	<input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無		
31. 研修プログラムの名称及び概要 <small>（基幹型記入）</small>		概要： * 別紙3に記入 （作成年月日：西暦 2011年7月1日）		
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） <small>（基幹型記入）</small> * プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入		（プログラム責任者） 川がナ セキネ 仔叻 氏名（姓） 氏名（名） 関根 一朗 所属 役職 医局 救命救急センター 部長 （副プログラム責任者） 1. <input checked="" type="radio"/> 有（ 2名） <input type="radio"/> 0. 無		
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 <small>（基幹型記入）</small> 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。		* 別紙4に記入		
34. インターネットを用いた評価システム		<input checked="" type="radio"/> 1. 有（ <input checked="" type="radio"/> BPOC ・その他（ _____ ） ） <input type="radio"/> 0. 無		
35. 研修開始時期 <small>（基幹型、地域密着型記入）</small>		西暦 2025年4月1日		
36. 研修医の処遇 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	処遇の適用 <small>（基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）</small>	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 <small>1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。</small> <input checked="" type="radio"/> 2. 病院独自の処遇とする。		
	常勤・非常勤の別	<input checked="" type="radio"/> 1. 常勤 <input type="radio"/> 2. 非常勤		
	研修手当	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> 一年次の支給額（税込み） 基本手当／(300,000円) 賞与／年(400,000円) </td> <td style="width: 50%; border: none;"> 二年次の支給額（税込み） 基本手当／月(320,000円) 賞与／年(640,000円) </td> </tr> </table> 時間外手当： <input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無 休日手当： 1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無	一年次の支給額（税込み） 基本手当／(300,000円) 賞与／年(400,000円)	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月(320,000円) 賞与／年(640,000円)
	一年次の支給額（税込み） 基本手当／(300,000円) 賞与／年(400,000円)	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月(320,000円) 賞与／年(640,000円)		
	勤務時間	基本的な勤務時間（8：30～17：00）24時間表記 休憩時間（12：00～13：00） 時間外勤務の有無 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無		
	休暇	有給休暇（1年次：10日、2年次：11日） 夏季休暇 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無 年末年始 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無 その他休暇（具体的に：慶弔休暇、リフレッシュ休暇など）		
	当直	回数（約 4回／月）		
	研修医の宿舎（再掲）	<input checked="" type="radio"/> 1. 有（単身用：40戸、世帯用： _____ 戸） <input type="radio"/> 0. 無（住宅手当：50,000円） <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>		
	研修医室（再掲）	1. 有（ _____ 室） <input checked="" type="radio"/> 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>		
	社会保険・労働保険	公的医療保険（組合管掌健康保険） 公的年金保険（厚生年金） 労働者災害補償保険法の適用 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無、 国家・地方公務員災害補償法の適用（1. 有 <input checked="" type="radio"/> 0. 無） 雇用保険 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 0. 無		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） <small>（基幹型・協力型記入）</small>	健康管理	健康診断（年2回） その他（具体的に）
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 <input checked="" type="radio"/> 1. する 0. しない 個人加入（1. 強制 <input checked="" type="radio"/> 0. 任意）
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加： <input checked="" type="radio"/> 1. 可 0. 否
		学会、研究会等への参加費用支給の有無： <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無 <small>有を選択した場合、開所時間を記入してください（ 0 時 00 分 ～ 24 時 00 分）</small>
		病児保育 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無 夜間保育 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か <input checked="" type="radio"/> 1. 可 0. 不可
	保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無
		その他の補助（具体的に）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無 授乳スペース <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無
その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	（ ）	
研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	<input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入（ ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） <input checked="" type="radio"/> 0. 無	
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記入（ハラスメント委員会） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） <input checked="" type="radio"/> 0. 無	
37. 研修医手帳 <small>（基幹型記入）</small>	<input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無	
38. 連携状況 <small>（基幹型記入）</small>	* 様式A-6に記入	

※欄は、記入しないこと。

※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

28. 研修プログラムの名称 <small>（基幹型・協力型記入）</small> プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。	研修プログラムの名称： 湘南鎌倉総合病院 初期臨床研修 産婦人科・小児科プログラム プログラム番号： _____	
29. 研修医の募集定員 <small>（基幹型記入）</small>	1年次： 4名、2年次： 4名	
30. 研修医の募集及び採用の方法 <small>（基幹型記入）</small>	研修プログラムに関する問い合わせ先 フリガナ カワラ シュンペイ 氏名（姓） 菅原 (名) 俊平 所属 臨床研修管理室 役職 主任 電話：(0467) 46 — 9886 FAX：(0467) 45 — 0190 e-mail：kenshu@shonankamakura.or.jp URL：http://www.skgh.jp	
	資料請求先 住所 〒 <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="7"/> — <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="3"/> (神奈川県 都・道・府・県) 鎌倉市岡本 1370-1 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">担当部門 臨床研修管理室</td> <td style="width: 70%;">担当者氏名 フリガナ カワラ シュンペイ 姓 菅原 名 俊平</td> </tr> </table>	担当部門 臨床研修管理室
担当部門 臨床研修管理室	担当者氏名 フリガナ カワラ シュンペイ 姓 菅原 名 俊平	

電話 : (0467) 46 — 9886 F A X : (0467) 45 — 0190

e-mail : kenshu@shonankamakura.or.jp

URL : <http://www.skgh.jp>

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） <small>（基幹型記入）</small>	募集方法	① 公募 ② その他（具体的に： ）		
	応募必要書類 <small>（複数選択可）</small>	① 履歴書、② 卒業（見込み）証明書、③ 成績証明書、 ④ 健康診断書、⑤ その他（具体的に： 推薦状 ）		
	選考方法 <small>（複数選択可）</small>	③ 面接 ④ 筆記試験 その他（具体的に： ）		
	募集及び選考の時期	募集時期： 4月 1日頃から 選考時期： 7月 20日頃から		
	マッチング利用の有無	① 有 ② 無		
31. 研修プログラムの名称及び概要 <small>（基幹型記入）</small>		概要： * 別紙3に記入 （作成年月日：西暦 2014年7月1日）		
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） <small>（基幹型記入）</small> * プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入		（プログラム責任者） 木幡 豊 氏名（姓） 氏名（名） 木幡 豊 所属 役職 医局 産婦人科 部長 （副プログラム責任者） ① 有（ 1名） ② 無		
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 <small>（基幹型記入）</small> 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。		* 別紙4に記入		
34. インターネットを用いた評価システム		① 有（ ② BPOC ・その他（ ） ） ③ 無		
35. 研修開始時期 <small>（基幹型、地域密着型記入）</small>		西暦 2025年4月1日		
36. 研修医の処遇 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	処遇の適用 <small>（基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）</small>	① 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 <small>1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。</small> ② 病院独自の処遇とする。		
	常勤・非常勤の別	① 常勤 ② 非常勤		
	研修手当	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> 一年次の支給額（税込み） 基本手当／(300,000円) 賞与／年(400,000円) </td> <td style="width: 50%; border: none;"> 二年次の支給額（税込み） 基本手当／月(320,000円) 賞与／年(640,000円) </td> </tr> </table> 時間外手当： ① 有 ② 無 休日手当： ① 有 ② 無	一年次の支給額（税込み） 基本手当／(300,000円) 賞与／年(400,000円)	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月(320,000円) 賞与／年(640,000円)
	一年次の支給額（税込み） 基本手当／(300,000円) 賞与／年(400,000円)	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月(320,000円) 賞与／年(640,000円)		
	勤務時間	基本的な勤務時間（8：30～17：00）24時間表記 休憩時間（12：00～13：00） 時間外勤務の有無： ① 有 ② 無		
	休暇	有給休暇（1年次：10日、2年次：11日） 夏季休暇 ① 有 ② 無 年末年始 ① 有 ② 無 その他休暇（具体的に：慶弔休暇、リフレッシュ休暇など）		
	当直	回数（約 4回／月）		
	研修医の宿舎（再掲）	① 有（単身用：40戸、世帯用： 戸） ② 無（住宅手当：50,000円） <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>		
	研修医室（再掲）	① 有（ 室） ② 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>		
	社会保険・労働保険	公的医療保険（組合管掌健康保険） 公的年金保険（厚生年金） 労働者災害補償保険法の適用 ① 有 ② 無、 国家・地方公務員災害補償法の適用（① 有 ② 無） 雇用保険 ① 有 ② 無		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） (基幹型・協力型記入)	健康管理	健康診断（年2回） その他（具体的に)
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 (1.) する 0. しない 個人加入 (1. 強制 (0.) 任意)
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加：(1.) 可 0. 否
		学会、研究会等への参加費用支給の有無：(1.) 有 0. 無
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無 (1.) 有 0. 無 有を選択した場合、開所時間を記入してください (0 時 00分 ~ 24 時 00分)
		病児保育 (1.) 有 0. 無 夜間保育 (1.) 有 0. 無
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1.) 可 0. 不可
	保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1.) 有 0. 無
		その他の補助（具体的に：)
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所 (1.) 有 0. 無 授乳スペース (1.) 有 0. 無
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	()
	研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	(1.) 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入() 窓口の専任担当 1. 有 (名) (0.) 無
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記入（ハラスメント委員会） 窓口の専任担当 1. 有 (名) (0.) 無	
37. 研修医手帳（基幹型記入）	(1.) 有 0. 無	
38. 連携状況（基幹型記入）	* 様式A-6に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。

- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数} - 52}{5} \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式A-3に記入すること(歯科医師は記入しない。)
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
- (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
 - (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
 - (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
 - (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、全ての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
 - (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
 - (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
 - (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。

17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
- （1）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
 - （2）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
 - （3）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（ ）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（ ）病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- （1）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
 - （2）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- （1）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
 - （2）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- （1）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
 - （2）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- （1）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
 - （2）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
 - （3）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で1年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- （1）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
 - （2）「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
 - （3）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
 - （4）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（1）～（3）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
 - （5）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
 - （6）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。

31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について

- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。

33 「研修医の処遇」欄について

- (1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5) 「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6) 「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7) 「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8) 「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9) 「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

7. 病院群の構成等

様式 A-10別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：湘南鎌倉総合病院（神奈川県）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院				臨床研修協力施設				研修プログラム			
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
神奈川県	横須賀三浦	(病院施設番号:030280) 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院		神奈川県	川崎市北部		聖マリアンナ医科大学 (病院施設番号:030269)		鹿児島県	奄美		医療法人徳洲会 名瀬徳洲会病院 (病院施設番号:031000)		湘南鎌倉総合病院 初期臨床研修基本プログラム	
				神奈川県	湘南東部		医療法人社団清心会 藤沢病院 (病院施設番号:030284)		北海道	十勝		医療法人徳洲会 帯広徳洲会病院 (病院施設番号:031070)		湘南鎌倉総合病院 初期臨床研修 産婦人科・小児科プログラム	
				静岡県	志太・榛原		榛原総合病院 (病院施設番号:030395)		北海道	南渡島	削除	医療法人徳洲会 共愛会病院 (病院施設番号:031121)			
				神奈川県	横浜南部		医療法人徳洲会 横浜日野病院 (病院施設番号:031494)		山梨県	中北		医療法人徳洲会 日根徳洲会病院 (病院施設番号:031122)			
				神奈川県	横須賀・三浦		医療法人徳洲会 葉山ハートセンター (病院施設番号:031508)		鹿児島県	肝属		医療法人徳洲会 大隅鹿屋病院 (病院施設番号:031123)			
				神奈川県	県央		医療法人徳洲会 湘南厚木病院 (病院施設番号:070005)		山形県	最上		医療法人徳洲会 新庄徳洲会病院 (病院施設番号:031124)			
				神奈川県	湘南東部		医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院 (病院施設番号:030282)		新潟県	下越		医療法人徳洲会 山北徳洲会病院 (病院施設番号:032540)			
				神奈川県	北多摩西部		医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院 (病院施設番号:070004)		鹿児島県	奄美		医療法人徳洲会 喜界徳洲会病院 (病院施設番号:033277)			
				神奈川県	県央		医療法人徳洲会 大和徳洲会病院 (病院施設番号:030293)		鹿児島県	奄美		医療法人徳洲会 瀬戸内徳洲会病院 (病院施設番号:033278)			
				千葉県	印旛		医療法人徳洲会 成田富里徳洲会病院 (病院施設番号:168317)		鹿児島県	熊毛		医療法人徳洲会 屋久島徳洲会病院 (病院施設番号:033279)			
				千葉県	東葛南部		医療法人徳洲会 鎌ヶ谷総合病院 (病院施設番号:090016)		鹿児島県	奄美		医療法人徳洲会 沖永良部徳洲会病院 (病院施設番号:033280)			
				宮城県	仙台		医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 (病院施設番号:030060)		鹿児島県	奄美		医療法人徳洲会 与論徳洲会病院 (病院施設番号:033281)			
				大阪府	大阪府南河内		医療法人徳洲会 松原徳洲会病院 (病院施設番号:030948)		沖縄県	宮古		医療法人徳洲会 宮古島徳洲会病院 (病院施設番号:033295)			
				千葉県	東葛北部		医療法人徳洲会 千葉西総合病院 (病院施設番号:030159)		埼玉県	秩父		医療法人徳洲会 皆野病院 (病院施設番号:041002)			
				神奈川県	横浜南部		済生会横浜市南部病院 (病院施設番号:030259)		鹿児島県	奄美		医療法人徳洲会 笠利病院 (病院施設番号:041003)			
	神奈川県	横浜西部		聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 (病院施設番号:030255)		愛媛県	宇和島		医療法人徳洲会 宇和島徳洲会病院 (病院施設番号:041004)						

基幹型又は地域密着型臨床研修病院			協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム		
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
				神奈川県	湘南東部		藤沢市民病院 (病院施設番号:030281)		沖縄県	八重山		医療法人徳洲会 石垣島徳洲会病院 (病院施設番号:041005)			
				京都府	山城北		医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 (病院施設番号:030485)		北海道	札幌		医療法人徳洲会 札幌南徳洲会病院 (病院施設番号:056506)			
				福岡県	福岡・糸島		医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院 (病院施設番号:030694)		鹿児島県	南薩		医療法人徳洲会 山川病院 (病院施設番号:076095)			
				北海道	南渡島		医療法人徳洲会 共愛会病院 (病院施設番号:031121)		鹿児島県	奄美		医療法人徳洲会 徳之島徳洲会病院 (病院施設番号:030951)			
				岐阜県	西濃		医療法人徳洲会 大垣徳洲会病院 (病院施設番号:100015)		山形県	庄内	削除	医療法人徳洲会 庄内余目病院 (病院施設番号:031060)			
				大阪府	豊能医療圏		医療法人徳洲会 吹田徳洲会病院 (病院施設番号:168249)		北海道	日高		医療法人徳洲会 日高徳洲会病院 (病院施設番号:031061)			
				神奈川県	横浜南部		神奈川県立こども医療センター (病院施設番号:031497)		千葉県	安房		医療法人徳洲会 館山病院 (病院施設番号:188802)			
				沖縄県	南部		医療法人徳洲会 南部徳洲会病院 (病院施設番号:030752)					(病院施設番号:)			
				神奈川県	湘南西部	追加	湘南大磯病院 (病院施設番号:030287)					(病院施設番号:)			
				兵庫県	神戸市	追加	神戸徳洲会病院 (病院施設番号:030986)					(病院施設番号:)			
				鹿児島県	鹿児島	追加	鹿児島徳洲会病院 (病院施設番号:030999)					(病院施設番号:)			
				山形県	庄内	追加	庄内余目病院 (病院施設番号:031060)					(病院施設番号:)			
				東京都	北多摩西部	追加	武蔵野徳洲会病院 (病院施設番号:168115)					(病院施設番号:)			
				神奈川県	湘南東部	追加	茅ヶ崎徳洲会病院 (病院施設番号:168313)					(病院施設番号:)			
				奈良県	西和	追加	生駒市立病院 (病院施設番号:168379)					(病院施設番号:)			
島根県	出雲	追加	出雲徳洲会病院 (病院施設番号:210001)					(病院施設番号:)							

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
<p>理由 徳洲会グループ病院は2021年度に複数あった法人が同一法人に統一され、医師の往来が活発化しております。 その中で、研修医にも地域によって違う診療体制や症例などを経験、多種多様な研修してもらうため、必要な症例数があり指導医が在籍している病院に限り協力型施設として追加をしました。</p> <p>上記は「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（医政発第0612004号）」に定める以下の要件に合致しているものと考えております。 「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について（医政発第0612004号）」</p> <p>5. 臨床研修病院の指定の基準 (1) 基幹型臨床研修病院の指定の基準 于 (イ) 地域医療のシステム化を図り、臨床研修病院群における緊密な連携を保つため、臨床研修病院群を構成する臨床研修病院及び臨床研修協力施設（病院又は診療所に限る。）は、原則、同一の二次医療圏内又は同一の都道府県内にあることを基本とし、それらの地域を越える場合は、以下のような正当な理由があること。 ①（略） ②（略） ③その他、基幹型臨床研修病院と連携し、十分な指導体制の下で様々なバリエーションの経験及び能力形成が可能であり、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるような基本的な診療能力を身に付けることのできる良質な研修が見込まれる場合であること。</p>															

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（2024年度開催回数 3回）

病院施設番号：030280

臨床研修病院の名称：医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ タマイ ヨウタロウ		湘南鎌倉総合病院	血液内科主任部長	研修実施責任者 指導医
姓 玉井	名 洋太郎			
フリガナ セキネ イチロウ		湘南鎌倉総合病院	救命救急センター 部長	研修委員長 プログラム責任者（基本）
姓 関根	名 一朗			
フリガナ カクタニ タクヤ		湘南鎌倉総合病院	リウマチ科部長	副プログラム責任者（基本） 指導医
姓 角谷	名 拓哉			
フリガナ ムラタ タカアキ		湘南鎌倉総合病院	外科部長	副プログラム責任者（基本） 指導医
姓 村田	名 宇謙			
フリガナ コハタ ユタカ		湘南鎌倉総合病院	産婦人科部長	プログラム責任者（産婦・小児） 指導医
姓 木幡	名 豊			
フリガナ ササキ コウジ		湘南鎌倉総合病院	小児科部長	副プログラム責任者（産婦・小児）指導医
姓 佐々木	名 康二			
フリガナ ヤマモト ダイスケ		湘南鎌倉総合病院	脳神経内科部長	指導医
姓 山本	名 大介			
フリガナ フクダ タカノリ		湘南鎌倉総合病院	産婦人科部長	指導医
姓 福田	名 貴則			
フリガナ クマガエ トモヒロ		湘南鎌倉総合病院	総合診療科医長	指導医
姓 熊谷	名 知博			
フリガナ ムラカミ マサト		湘南鎌倉総合病院	循環器科主任部長	指導医
姓 村上	名 正人			

※ 1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（2024年度開催回数 3回）

病院施設番号：030280

臨床研修病院の名称：医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ テシマ シンイチ		湘南鎌倉総合病院	病理診断部部长	指導医
姓 手島	名 伸一			
フリガナ オオタ タカシ		湘南鎌倉総合病院	麻酔科部長	指導医
姓 太田	名 隆嗣			
フリガナ コヤマ ヒロシ		湘南鎌倉総合病院	副院長/ 集中治療部部长	指導医
姓 小山	名 洋史			
フリガナ サトウ モリヒコ		湘南鎌倉総合病院	感染管理対策室部長	指導医
姓 佐藤	名 守彦			
フリガナ ウカワ ミホ		湘南鎌倉総合病院	看護部長	
姓 鶴川	名 美穂			
フリガナ ナカムラ マサトシ		湘南鎌倉総合病院	薬剤部長	
姓 中村	名 雅敏			
フリガナ カガヤ ノリヨシ		湘南鎌倉総合病院	検査部技師長	
姓 加賀谷	名 範芳			
フリガナ セキネ サトシ		湘南鎌倉総合病院	放射線科技師長	
姓 関根	名 聡			
フリガナ エグチ ヨウコ		湘南鎌倉総合病院	医療安全管理者	
姓 江口	名 陽子			
フリガナ アシハラ ノリュキ		湘南鎌倉総合病院	事務長	
姓 芦原	名 教之			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（2024年度開催回数 3回）

病院施設番号：030280

臨床研修病院の名称：医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ ユアサ	チハヤ	湘南鎌倉総合病院	2年次研修医	
姓 湯浅	名 智栄			
フリガナ ハタ	ノゾミ	湘南鎌倉総合病院	1年次研修医	
姓 秦	名 望海			
フリガナ スギサキ	ゲンキ	湘南鎌倉総合病院	臨床研修管理室 主任	
姓 杉崎	名 元紀			
フリガナ スガワラ	シュンペイ	湘南鎌倉総合病院	臨床研修管理室 主任	
姓 菅原	名 俊平			
フリガナ イシイ	ヒデアキ	鎌倉ロジュマン自治会		有識者外部委員
姓 石井	名 英明			
フリガナ ハヤシ	ミホ	医療法人社団清心会 藤沢病院	臨床研修担当医	研修実施責任者
姓 林	名 美穂			
フリガナ イイダ	コウジ	医療法人徳洲会 葉山ハートセンター	院長	研修実施責任者
姓 飯田	名 浩司			
フリガナ モリ	タカヒサ	医療法人徳洲会 湘南厚木病院	院長	研修実施責任者
姓 森	名 貴久			
フリガナ エバラ	ソウヘイ	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	院長	研修実施責任者
姓 江原	名 宗平			
フリガナ サトウ	カズヒコ	医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院	院長	研修実施責任者
姓 佐藤	名 一彦			

※ 1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（2024年度開催回数 3回）

病院施設番号：030280

臨床研修病院の名称：医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ ババ	アツオミ	医療法人徳洲会	院長	研修実施責任者
姓 馬場	名 淳臣	横浜日野病院		
フリガナ スエヨシ	アツシ	医療法人徳洲会	院長	院長
姓 末吉	名 敦	宇治徳洲会病院		
フリガナ ノリトミ	トモアキ	医療法人徳洲会	院長	院長
姓 乗富	名 智明	福岡徳洲会病院		
フリガナ ホリ	タカキ	医療法人徳洲会	院長	研修実施責任者
姓 堀	名 隆樹	鎌ヶ谷総合病院		臨床研修指導医
フリガナ キン	ショウエイ	医療法人徳洲会	小児科部長	研修実施責任者
姓 金	名 鍾栄	千葉西総合病院		
フリガナ タカシマ	ヤスヒデ	医療法人徳洲会	副院長	研修実施責任者
姓 高島	名 康秀	榛原総合病院		臨床研修指導医
フリガナ モリタ	ツヨシ	医療法人徳洲会	副院長	研修実施責任者
姓 森田	名 剛史	松原徳洲会病院		
フリガナ イノウエ	ナオミ	医療法人徳洲会	院長	研修実施責任者
姓 井上	名 尚美	仙台徳洲会病院		
フリガナ コバヤシ	トシヤ	聖マリアンナ医科大学	心臓血管外科特任教授	研修実施責任者
姓 小林	名 俊也	横浜市西部病院		
フリガナ ニシカワ	マサノリ	藤沢市民病院	院長	研修実施責任者
姓 西川	名 正憲			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（2024年度開催回数 3回）

病院施設番号：030280

臨床研修病院の名称：医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ マセ	タカヒロ	医療法人徳洲会	院長	研修実施責任者
姓 間瀬	姓 隆弘	大垣徳洲会病院		臨床研修指導医
フリガナ ウエダ	ヒデアキ	神奈川県立こども医療センター	副院長	研修実施責任者
姓 上田	名 秀明			
フリガナ イワモト	タミオ	済生会横浜市南部病院	臨床研修センター長	研修実施責任者
姓 岩本	名 彩雄			
フリガナ オカ	ススム	医療法人徳洲会	院長	研修実施責任者
姓 岡	名 進	笠利病院		
フリガナ シモダ	ミツヨシ	医療法人徳洲会	外科部長	研修実施責任者
姓 霜田	名 光義	皆野病院		
フリガナ イシカワ	マコト	医療法人徳洲会	院長	研修実施責任者
姓 石川	名 真	白根徳洲会病院		臨床研修指導医
フリガナ ムナカタ	タカシ	医療法人徳洲会	院長	研修実施責任者
姓 棟方	名 隆	帯広徳洲会病院		臨床研修指導医
フリガナ ミズシマ	ユタカ	医療法人徳洲会	名誉院長	研修実施責任者
姓 水島	名 豊	共愛会病院		臨床研修指導医
フリガナ マツモト	シュウイチ	医療法人徳洲会	院長	研修実施責任者
姓 松本	名 修一	宇和島徳洲会病院		臨床研修指導医
フリガナ コバヤシ	ツカサ	医療法人徳洲会	院長	研修実施責任者
姓 小林	名 司	山北徳洲会病院		

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（2024年度開催回数 3回）

病院施設番号：030280

臨床研修病院の名称：医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ ゴンドウ ガクジ 姓 権藤 名 学司	湘南大磯病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ タケノウエ トモヒロ 姓 竹上 名 智浩	大和徳洲会病院	副院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ オノ ワタル 姓 尾野 名 亘	神戸徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ ホサカ セイジ 姓 保坂 名 征司	鹿児島徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ テラダ ヤスシ 姓 寺田 名 康	庄内余目病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ オケガワ タカツグ 姓 桶川 名 隆嗣	武蔵野徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ コウガ タケシ 姓 甲賀 名 健史	茅ヶ崎徳洲会病院	内科医長	研修実施責任者
フリガナ オギノ ヒデミツ 姓 荻野 名 秀光	成田富里徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ エンドウ キヨシ 姓 遠藤 名 清	生駒市立病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医

※ 1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（2024年度開催回数 3回）

病院施設番号：030280

臨床研修病院の名称：医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ タバラ ヒデキ 姓 田原 名 英樹	出雲徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ ニイロ ナオヒサ 姓 新納 名 直久	徳之島徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ ミツモト ヨウジロウ 姓 満元 名 洋二郎	名瀬徳洲会病院	院長	研修実施責任者
フリガナ イサイ ヒデヤ 姓 井齋 名 偉矢	日高徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ ニシモト ヨシヤ 姓 西元 名 嘉哉	大隅鹿屋病院	内科医員	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ ササカベ ヒロシ 姓 笹壁 名 弘嗣	新庄徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ コバヤシ ツカサ 姓 小林 名 司	山北徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ コバヤシ ススム 姓 小林 名 奏	喜界徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ タカマツ ジュン 姓 高松 名 純	瀬戸内徳洲会病院	院長	研修実施責任者
フリガナ ヤマモト コウジ 姓 山本 名 晃司	屋久島徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医

※ 1ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（2024年度開催回数 3回）

病院施設番号：030280

臨床研修病院の名称：医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ タマエ ツヨシ 姓 玉榮 名 剛	沖永良部徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ タカスギ カシヤ 姓 高杉 名 香志也	与論徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ カネシロ タカオ 姓 兼城 名 隆雄	宮古島徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ シモダ ミツヨシ 姓 霜田 名 光義	皆野病院	外科部長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ オカ ススム 姓 岡 名 進	笠利病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ マツモト シュウイチ 姓 松本 名 修一	宇和島徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ イケムラ リョウ 姓 池村 名 綾	石垣島徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ シジュウボウ カツヤ 姓 四十坊 名 克也	札幌南徳洲会病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ ノグチ シュウジ 姓 野口 名 修二	山川病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ ノウジュウ ミホ 姓 能重 名 美穂	館山病院	内科医長	研修実施責任者 臨床研修指導医

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：	湘南鎌倉総合病院
病院施設番号：	030280

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科		総合診療科			心臓血管外科	脳神経外科	脳卒中診療科	
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	3,187	0 (58,505)	2,528	0	370	1,510 (488)			0	0			402	836	583	9416 (488)
年間新外来患者数	1,135	11,469	411	0	299	952			0	0			85	102	26	14,479
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	98.2 (295)	159.8 (366)	95.4 (295)	0 (0)	17.6 (295)	105.8 (295)	(0)	(0)	0 (0)	3.5 (295)	(0)	(0)	18.6 (295)	28.9 (295)	4.1 (295)	
平均在院日数	13.2	0	10.9	0	2.8	4.2			0	0			15.7	21.2	12.2	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医 (指導医) 数)	28 (21)	29 (4)	14 (6)	11 (3)	4 (1)	11 (3)	()	()	1 ()	6 (3)	()	()	7 (1)	6 (2)	2 (1)	119 (45)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：湘南鎌倉総合病院
 病院施設番号：030280

区 分	その他の研修を行う診療科													合 計
	眼科	耳鼻科	放射線科	皮膚科	泌尿器科	形成外科	集中治療部	外傷整形外科	循環器科					
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	851	352	0	2	696	302	0	1,737	4,948					18,304 (488)
年間新外来患者数	161	305	559	46	245	320	0	176	1,133					17,424
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	51.9 (295)	54.5 (295)	5.1 (295)	15.6 (295)	74.3 (295)	56.6 (295)	0 (0)	107.8 (295)	132.4 (295)	()	()	()	()	
平均在院日数	1.4	5.4	0.0	20.0	5.9	19.3	0	11.8	5.2					
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	1 (1)	2 ()	12 (1)	1 (1)	4 (1)	5 ()	9 (1)	17 (3)	21 (5)	()	()	()	()	191 (58)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来

院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

東京西徳洲会病院	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
柏崎総合医療センター	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下越病院	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	【外科計】	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
千葉西総合病院	整形外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	【整形外科計】	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
湘南鎌倉総合病院	麻酔科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
湘南藤沢徳洲会病院	麻酔科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
柏崎総合医療センター	麻酔科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下越病院	麻酔科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	【麻酔科計】	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
湘南鎌倉総合病院	小児科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
湘南藤沢徳洲会病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
柏崎総合医療センター	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下越病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	【小児科計】	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
湘南鎌倉総合病院	産婦人科	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
湘南厚木病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
名古屋徳洲会総合病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
湘南藤沢徳洲会総合病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
柏崎総合医療センター	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下越病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	【産婦人科計】	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名

を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

東京西徳洲会病院	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
柏崎総合医療センター	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下越病院	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	【外科計】	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
千葉西総合病院	整形外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	【整形外科計】	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
湘南鎌倉総合病院	麻酔科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
湘南藤沢徳洲会病院	麻酔科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
柏崎総合医療センター	麻酔科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下越病院	麻酔科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	【麻酔科計】	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
湘南鎌倉総合病院	小児科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
湘南藤沢徳洲会病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
柏崎総合医療センター	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下越病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	【小児科計】	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
湘南鎌倉総合病院	産婦人科	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
湘南厚木病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
名古屋徳洲会総合病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
湘南藤沢徳洲会総合病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
柏崎総合医療センター	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下越病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	【産婦人科計】	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名

を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

下越病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
済生会新潟病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	【産婦人科計】	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

済生会新潟病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	【産婦人科計】	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： _____

病院施設番号： 030280 臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

臨床研修病院群番号： _____ 臨床研修病院群名： _____

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称		湘南鎌倉総合病院 初期臨床研修 基本プログラム			
2. 研修プログラムの特色		全科ローテーション救急医療をベースに総合的な臨床能力を育成する、2年間の初期臨床研修プログラムである。			
3. 臨床研修の目標の概要		厚生労働省の初期研修到達目標を目的とする。			
4. 研修期間		(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考		研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。			
5. 臨床研修を行う分野		研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	030280 090016 031121 030395 168249 168317 100015 030293	湘南鎌倉総合病院 鎌ヶ谷総合病院 共愛会病院 榛原総合病院 吹田徳洲会病院 成田富里徳洲会病院 大垣徳洲会病院 大和徳洲会病院	27週	2週
	救急部門	030280 090016 030395 168249 168317 100015 030293	湘南鎌倉総合病院 鎌ヶ谷総合病院 榛原総合病院 吹田徳洲会病院 成田富里徳洲会病院 大垣徳洲会病院 大和徳洲会病院	9週	

	地域医療	031061 031060 031000 030951 031124 031123 033279 033277 033278 041003 041002 031122 031070 188802 041004 041005 032540 033280 033281 033295 076095 056506	日高徳洲会病院 庄内余目病院 名瀬徳洲会病、 徳之島徳洲会病院 新庄徳洲会病院 大隈鹿屋病院 屋久島徳洲会病院 喜界徳洲会病院 瀬戸内徳洲会病院 笠利病院 皆野病院 白根徳洲会病院 帯広徳洲会病院 館山病院 宇和島徳洲会病院 石垣島徳洲会病院 山北徳洲会病院 沖永良部徳洲会病院 与論徳洲会病院 宮古島徳洲会病院 山川徳洲会病院 札幌南徳洲会病院		9 週	一般外来 4 週 在宅診療 2 週
	外科	030280 090016 031121 030395 168249 168317 100015 030293	湘南鎌倉総合病院 鎌ヶ谷総合病院 共愛会病院 榛原総合病院 吹田徳洲会病院 成田富里徳洲会病院 大垣徳洲会病院 大和徳洲会病院		14 週	
	小児科	030280 030282 030259 030281 030159 030255 030694 030485 031497	湘南鎌倉総合病院 湘南藤沢徳洲会病院 済生会横浜市南部病院 藤沢市民病院 千葉西総合病院 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 福岡徳洲会病院 宇治徳洲会病院 神奈川県立こども医療センター		4 週	
	産婦人科	030280 030694 031121 168249	湘南鎌倉総合病院 福岡徳洲会病院 共愛会病院 吹田徳洲会病院		8 週	
	精神科	030280 031494 030284	湘南鎌倉総合病院 日野病院 藤沢病院		4 週	
	一般外来				週	
病院で 定めた 必修 科目	麻酔科	030280 090016 030395 168249 030293	湘南鎌倉総合病院 鎌ヶ谷総合病院 榛原総合病院 吹田徳洲会病院 大和徳洲会病院		4 週	週

	総合診療科 訪問診療	030280	湘南鎌倉総合病院	4週	在宅診療 4週
2年次 選択 科目	内科	030280 070005 030282 030296 031508	湘南鎌倉総合病院 湘南厚木病院 湘南藤沢徳洲会病院 東京西徳洲会病院 葉山ハートセンター	21週	週
	外科	030280 070005 030282 030296 030948 030060 030395 030293 168317	湘南鎌倉総合病院 湘南厚木病院 湘南藤沢徳洲会病院 東京西徳洲会病院 松原徳洲会病院 仙台徳洲会病院 榛原総合病院 大和徳洲会病院 成田富里徳洲会病院		
	小児科	030280 030282 030259 030281 030159 030255 030694 030485 031497	湘南鎌倉総合病院 湘南藤沢徳洲会病院 済生会横浜市南部病院 藤沢市民病院 千葉西総合病院 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 福岡徳洲会病院 宇治徳洲会病院 神奈川県立こども医療センター		
	放射線科	030280 030269	湘南鎌倉総合病院、 聖マリアンナ医科大学病院		
	麻酔科 (ICU)	030280 030282	湘南鎌倉総合病院 湘南藤沢徳洲会病院		
	脳神経外科	030280	湘南鎌倉総合病院		
	脳卒中診療科	030280	湘南鎌倉総合病院		
	外傷整形外科	030280	湘南鎌倉総合病院		
	形成外科	030280	湘南鎌倉総合病院		
	眼科	030280	湘南鎌倉総合病院		
	耳鼻科	030280	湘南鎌倉総合病院		
	皮膚科	030280	湘南鎌倉総合病院		
	病理	030280	湘南鎌倉総合病院		
	精神科	030280 031494 030284	湘南鎌倉総合病院 日野病院 藤沢病院		
	整形外科	030280 030282 070005 030752	湘南鎌倉総合病院 湘南藤沢徳洲会病院 湘南厚木病院 南部徳洲会病院		
	産婦人科	030280 030694	湘南鎌倉総合病院 福岡徳洲会病院		

	泌尿器科	030280 090016	湘南鎌倉総合病院 鎌ヶ谷総合病院		
	緩和ケア	56294 90016	札幌南徳洲会病院、 鎌ヶ谷総合病院		
	保健・医療行政	030280	湘南鎌倉総合病院		
	救急部門	030280 070004	湘南鎌倉総合病院 東京西徳洲会病院		

備考：

選択科目（延 21 週）については選択科目から月単位で選択すること。

基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 52 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。

臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週以内 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。

研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 100 回（月 4 回×24 ヶ月）

救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする

一般外来の研修を行う診療科・・・内科、地域医療

※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

病院、済生会横浜市南部病院、藤沢
市民病院、千葉西総合病院、聖マリア
ンナ医科大学横浜市西部病院、北里
大学病院、日野病院、藤沢病院、福
岡徳洲会病院、宇治徳洲会病院、札
幌南徳洲会病院、鎌ヶ谷総合病院、
聖マリアンナ医科大学病院、神奈川
県立こども医療センター

- * 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。
- * 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。
- * 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： _____

病院施設番号： 030280 臨床研修病院の名称： 医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院

臨床研修病院群番号： _____ 臨床研修病院群名： _____

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称		湘南鎌倉総合病院 産婦人科・小児科プログラム			
2. 研修プログラムの特色		全科ローテーション救急医療をベースに周産期医療に従事することを希望する医師を対象とした2年間の研修プログラムである。			
3. 臨床研修の目標の概要		本プログラムは、将来、周産期医療に携わりたいことを希望する研修医を対象にしたプログラムである。特徴は初期臨床研修の2年間においても十分な期間を産婦人科・小児科研修で履修し、将来の専門医を目指した研修プログラムになっている。			
4. 研修期間		(2)年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考		研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。			
5. 臨床研修を行う分野		研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	030280	湘南鎌倉総合病院	27週	2週
		090016	鎌ヶ谷総合病院		
		031121	共愛会病院		
		030395	榛原総合病院		
		168249	吹田徳洲会病院		
		168317	成田富里徳洲会病院		
		100015	大垣徳洲会病院		
		030293	大和徳洲会病院		
	救急部門	030280	湘南鎌倉総合病院	9週	/
		090016	鎌ヶ谷総合病院		
		030395	榛原総合病院		
		168249	吹田徳洲会病院		
		168317	成田富里徳洲会病院		
		030293	大和徳洲会病院		

	地域医療	031061 031060 031000 030951 031124 031123 033279 033277 033278 041003 041002 031122 031070 188802 041004 041005 032540 033280 033281 033295 076095 056506	日高徳洲会病院 庄内余目病院 名瀬徳洲会病、 徳之島徳洲会病院 新庄徳洲会病院 大隈鹿屋病院 屋久島徳洲会病院 喜界徳洲会病院 瀬戸内徳洲会病院 笠利病院 皆野病院 白根徳洲会病院 帯広徳洲会病院 館山病院 宇和島徳洲会病院 石垣島徳洲会病院 山北徳洲会病院 沖永良部徳洲会病院 与論徳洲会病院 宮古島徳洲会病院 山川徳洲会病院 札幌南徳洲会病院	9 週	一般外来 4 週 在宅診療 2 週
	外科	030280 090016 031121 030395 168249 168317 100015 030293	湘南鎌倉総合病院 鎌ヶ谷総合病院 共愛会病院 榛原総合病院 吹田徳洲会病院 成田富里徳洲会病院 大垣徳洲会病院 大和徳洲会病院	14 週	週
	小児科	030280 030282 030259 030281 030159 030255 030694 030485 031497	湘南鎌倉総合病院 湘南藤沢徳洲会病院 済生会横浜市南部病院 藤沢市民病院 千葉西総合病院 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 福岡徳洲会病院 宇治徳洲会病院 神奈川県立こども医療センター	4 週	
	産婦人科	030280 030694 031121 168249	湘南鎌倉総合病院 福岡徳洲会病院 共愛会病院 吹田徳洲会病院	8 週	
	精神科	030280 031494 030284 030296	湘南鎌倉総合病院 日野病院 藤沢病院 北里大学病院	4 週	
	一般外来			週	
病院で 定めた 必修 科目	麻酔科	030280 090016 030395 168249 030293	湘南鎌倉総合病院 鎌ヶ谷総合病院 榛原総合病院 吹田徳洲会病院 大和徳洲会病院	4 週	週

	総合診療科 訪問診療	030280	湘南鎌倉総合病院	4週	在宅診療 4週
2年 次選 択 科目	小児科 産婦人科	030280 030282 030259 030281 030159 030255 030694 030485 031497	湘南鎌倉総合病院 湘南藤沢徳洲会病院 済生会横浜市南部病院 藤沢市民病院 千葉西総合病院 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 福岡徳洲会病院 宇治徳洲会病院 神奈川県立こども医療センター	21週	週
<p>備考：</p> <p>選択科目（延 22 週）については小児科・産婦人科から月単位で選択すること。</p> <p>基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 <u>52 週</u> ※原則として、<u>52 週以上</u>行うことが望ましい。</p> <p>臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 <u>12 週以内</u> ※原則として、<u>12 週以内</u>であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。</p> <p>研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 100 回（月 4 回×24 ヶ月）</p> <p>救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする</p> <p>一般外来の研修を行う診療科・・・内科、地域医療</p> <p>※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること</p>					

- * 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。
- * 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。
- * 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 湘南鎌倉総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
外科	藤井 正一	湘南鎌倉総合病院	外科統括部長	36	○	日本外科学会外科専門医・指導医 日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医		4
外科	下山 ライ	湘南鎌倉総合病院	副院長	26	○	日本外科学会外科専門医・指導医 日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医 第13回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会 (H21.1.11 受講)		4
外科	村田 宇謙	湘南鎌倉総合病院	部長	14	○	日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本救急医学会専門医 第22回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会 (H29.9.3 受講)		2
外科	深井 隆太	湘南鎌倉総合病院	主任部長	27	○	日本呼吸器外科学会評議員 日本外科学会専門医・指導医 呼吸器外科専門医 第20回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会 (H27.7.12 受講)		4
外科	西田 智喜	湘南鎌倉総合病院	部長	18	○	日本外科学会専門医・指導医 日本呼吸器外科学会専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 第23回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会 (H30.2.18 受講)		4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 湘南鎌倉総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
外科	山口 修央	湘南鎌倉総合病院		9	○	日本外科学会外科専門医 第 27 回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会 (R4. 10. 23 受講)		4
内科	田中 江里	湘南鎌倉総合病院	内科統括部長	32	○	日本内科学会指導医・総合内科専門医 VHIJ 機構指導医養成講座 (H20. 2. 11 受講)		4
内科	引野 幸司	湘南鎌倉総合病院	部長	23	○	日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医日本呼吸器学会呼吸器専門医日本内科学会認定内科医全国労災病院臨床研修指導医講習会 (H26. 11. 13 受講)		4
内科	赤澤 賢一郎	湘南鎌倉総合病院	部長	20	○	日本内科学会認定内科医 総合内科専門医		4
内科	西口 翔	湘南鎌倉総合病院	部長	18	○	総合内科専門医 日本病院学会臨床研修指導医養成講習会 (H26. 11. 16 受講)		4
内科	永廣 尚敬	湘南鎌倉総合病院	医長	20	○	日本内科学会専門医 日本医師会認定産業医 第 27 回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会 (R4. 10. 23)		4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 湘南鎌倉総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
外科	山口 修央	湘南鎌倉総合病院		9	○	日本外科学会外科専門医 第 27 回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会 (R4. 10. 23 受講)		4
内科	田中 江里	湘南鎌倉総合病院	内科統括部長	32	○	日本内科学会指導医・総合内科専門医 VHIJ 機構指導医養成講座 (H20. 2. 11 受講)		4
内科	引野 幸司	湘南鎌倉総合病院	部長	23	○	日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医日本呼吸器学会呼吸器専門医日本内科学会認定内科医全国労災病院臨床研修指導医講習会 (H26. 11. 13 受講)		4
内科	赤澤 賢一郎	湘南鎌倉総合病院	部長	20	○	日本内科学会認定内科医 総合内科専門医		4
内科	西口 翔	湘南鎌倉総合病院	部長	17	○	総合内科専門医 日本病院学会臨床研修指導医養成講習会 (H26. 11. 16 受講)		4
内科	永廣 尚敬	湘南鎌倉総合病院	医長	20	○	日本内科学会専門医 日本医師会認定産業医 第 27 回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会 (R4. 10. 23)		4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 湘南鎌倉総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	西増 理絵子	湘南鎌倉総合病院		12	○	日本内科学会認定医 第 25 回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会 (R1. 12. 22 受講)		4
内科	守矢 英和	湘南鎌倉総合病院	副院長 主任部長	30	○	日本内科学会指導医 総合内科専門医 日本腎臓学会評議員、指導医、専門医 東海大学医学部付属病院臨床研修指導医養成講習会 (H19. 6. 2 受講)		3
内科	日高 寿美	湘南鎌倉総合病院	主任部長	39	○	日本内科学会認定内科医 総合内科専門医 日本腎臓学会評議員 認定指導医、専門医 日本病院会臨床研修指導医養成講習会 (H24. 9. 16 受講)		4
内科	石岡 邦啓	湘南鎌倉総合病院	部長	20	○	日本内科学会認定内科医 総合内科専門医 日本腎臓学会専門医 日本透析医学会専門医 全国自治体病院協議会臨床研修指導医養成講習会 (H24. 12. 23 受講)		4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 湘南鎌倉総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内科	持田 泰寛	湘南鎌倉総合病院	部長	19	○	日本内科学会認定内科医 総合内科専門医 日本腎臓学会専門医 日本透析医学会専門医 第24回指導医養成ワークショップ (H28.10.22受講)	4	
内科	小林 正紘	湘南鎌倉総合病院	部長	34	○	日本内科学会総合内科認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓学会専門医 日本消化器学会 専門医 国家公務員共済組合連合会病院臨床研 修指導医養成講習会(H22.6.6受講)	4	
内科	佐々木 亜希子	湘南鎌倉総合病院	部長	20	○	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 第23回徳洲会グループ臨床研修指導者 養成講習会(H30.2.18受講)	4	
内科	玉井 洋太郎	湘南鎌倉総合病院	主任部長	21	○	医学博士日本内科学会認定医 日本血液学会専門医・指導医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 第22回徳洲会グループ臨床研修指導者 養成講習会(H29.9.3受講)	3	

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 湘南鎌倉総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	川田 純也	湘南鎌倉総合病院	部長	44	○	日本神経学会専門医・指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本頭痛学会専門医 第10回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会(H20.6.8受講)		4
内科	山本 大介	湘南鎌倉総合病院	部長	16	○	総合内科専門医 脳卒中専門医 神経内科専門医		4
内科	佐伯 雅史	湘南鎌倉総合病院	医長	12	○	日本神経学会神経内科専門医 総合内科専門医		4
内科	野間 聖	湘南鎌倉総合病院	部長	24	○	日本内科学会総合内科専門医 日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 日本アレルギー学会アレルギー専門医 亀田メディカルセンター臨床研修指導医講習会(H29.7.2受講)		4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 湘南鎌倉総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	村上 正人	湘南鎌倉総合病院	主任部長	27	○	日本不整脈心電学会認定不整脈専門医 日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医 第 19 回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会(H27. 2. 15 受講)		4
内科	田中 穰	湘南鎌倉総合病院	部長	27	○	日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本循環器学会循環器専門医 日本病院会臨床研修指導医講習会(H29. 6. 4 受講)		4
内科	水野 真吾	湘南鎌倉総合病院	部長	22	○	日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会内科認定医 日本心血管インターベンション治療学会専門医 全日本病院協会臨床研修指導医講習会(H27. 11. 15 受講)		4
内科	宍戸 晃基	湘南鎌倉総合病院	部長	18	○	日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会内科認定医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 19 回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会(H27. 2. 15)		4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 湘南鎌倉総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内科	佐藤 守彦	湘南鎌倉総合病院	部長	36	○	日本耳鼻咽喉科専門医 耳鼻咽喉科騒音性難聴担当医 日本化学療法学会抗菌科学療法認定 医 日本医師会産業医 横浜市立みなと赤十字病院臨床研修 指導医養成講習会(H23.2.27 受講)	4	
小児科	佐々木 康二	湘南鎌倉総合病院	部長	17	○	日本小児科学会小児科専門医 日本血液学会血液学会専門医 第 28 回徳洲会グループ臨床研修指導 者養成講習会(R5.2.26 受講)	2	
総合診療科	瀬戸 雅美	湘南鎌倉総合病院	部長	30	○	日本プライマリケア学会 第 19 回徳洲会グループ臨床研修指導 者養成講習会(H25.3.3 受講)	4	
総合診療科	熊谷 智博	湘南鎌倉総合病院	医長	11	○	日本プライマリケア学会 三重大学医学部付属病院合同指導医 養成講習会(R2.10.3 受講)	4	
総合診療科	佐野 恵	湘南鎌倉総合病院		12	○	総合診療専門研修 特任指導医認定 全日本協会 臨床研修指導医講習会 (R5.2.19 受講)	4	

(No. 9)

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 湘南鎌倉総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
麻酔科	倉橋 清泰	湘南鎌倉総合病院	主任部長	35	○	日本麻酔科学会麻酔科専門医・指導医 日本集中治療医学会 集中治療専門医 横浜市立大学病院群臨床研修指導医養成講習会 (H17. 6. 12 受講)		4
麻酔科	太田 隆嗣	湘南鎌倉総合病院	部長	15	○	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会専門 久留米大学指導医講習会 (H29. 1. 21 受講)		4
麻酔科	中村 優太	湘南鎌倉総合病院	医長	8	○	麻酔科標榜医 第26回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会 (R3. 12. 5 受講)		4
集中治療部	網野 祐美子	湘南鎌倉総合病院	医長	16	○	日本救急医学会専門医 日本集中治療学会専門医 徳島県臨床研修指導医養成講習会 (R1. 11. 24 受講)		4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 湘南鎌倉総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
救急部門	山上 浩	湘南鎌倉総合病院	副院長 センター長	21	○	日本救急医学会 指導医 日本救急医学会 救急科専門医 日本病院会臨床研修指導医養成講習 会(H23. 9. 11 受講)	4	
救急部門	山本 真嗣	湘南鎌倉総合病院	部長	20	○	日本救急医学会救急科専門医 全日本病院協会臨床研修指導医講習 会(H24. 11. 4 受講)	4	
救急部門	関根 一朗	湘南鎌倉総合病院	部長	13	○	日本救急医学会 救急科専門医 日本小児科学会 日本小児救急医学会 第 22 回徳洲会グループ臨床研修指導 者養成講習会(H29. 9. 3 受講)	1	
救急部門	堀池 亜弥	湘南鎌倉総合病院	医長	11	○	日本救急医学会 救急科専門医 第 26 回徳洲会グループ臨床研修指導 者養成講習会(R3. 12. 5 受講)	4	
脳神経外科	渡辺 剛史	湘南鎌倉総合病院	副院長 主任部長	25	○	日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経外科指導医 第 18 回徳洲会グループ臨床研修指導 者養成講習会(H25. 3. 3 受講)	4	

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 湘南鎌倉総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
脳神経外科	堀田 和子	湘南鎌倉総合病院	医長	15	○	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会脳卒中専門医		4
心臓血管外科	野口 権一郎	湘南鎌倉総合病院	部長	27	○	心臓血管外科専門医、心臓血管外科 修練指導医、外科専門医、日本外科 学会、日本胸部外科学会、日本心臓 血管外科学会、日本血管外科学会		4
産婦人科	木幡 豊	湘南鎌倉総合病院	部長	44	○	日本産科婦人科学会指導医・専門医、 日本産婦人科内視鏡学会 臨床研修研究会臨床研修指導医養成 講習会(H11. 2. 13 受講)		1
産婦人科	高橋 慎治	湘南鎌倉総合病院	部長	22	○	日本産科婦人科学会専門医 横浜市立湊赤十字病院臨床研修指導 医養成講習会(H29. 2. 19 受講)		4
産婦人科	福田 貴則	湘南鎌倉総合病院	部長	24	○	日本産科婦人科学会指導医・専門医 日本産科婦人科内視鏡学会認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本病院会臨床研修指導医養成講習 会(H27. 2. 8 受講)		4

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 湘南鎌倉総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
整形外科	塩野 正喜	湘南鎌倉総合病院	部長	58	○	日本整形外科学会認定医 日本リハビリテーション学会（臨床認定医） 第 18 回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会（H25. 3. 3 受講）	4	
外傷整形	西田 匡宏	湘南鎌倉総合病院	部長	22	○	日本整形外科学会専門医・指導医 臨床研修指導医 国際医療福祉大学高邦会グループ臨床研修指導医養成ワークショップ（H27. 6. 10 受講）	4	
外傷整形	山田 佳世	湘南鎌倉総合病院		10	○	日本整形外科学会専門医 日本外傷学会専門医	4	
皮膚科	入交 純也	湘南鎌倉総合病院	部長	32	○	日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、 日本臨床皮膚科医会、日本医真菌学会 第 11 回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会（H20. 9. 21 受講）	4	

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 湘南鎌倉総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
外傷整形	土田 芳彦	湘南鎌倉総合病院	副院長 センター長	36	○	日本整形外科学会専門医 日本救急医学会専門医 日本手外科学会専門医 日本外傷学会専門医 北海道プライマリ・ケアネットワーク 指導医講習会(H23. 9. 25 受講)	4	
眼科	飯島 千津子	湘南鎌倉総合病院	部長	39	○	医学博士、日本眼科学会専門医、日本眼科手術学会、 日本眼内レンズ屈折手術学会、日本緑内障学会 第18回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会(H25. 3. 3 受講)	4	
泌尿器科	三浦 一郎	湘南鎌倉総合病院	部長	33	○	日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会認定医 日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡手術技術認定医 日本内視鏡外科学会 第18回徳洲会グループ臨床研修指導者養成講習会(H25. 3. 3 受講)	4	

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030280

臨床研修病院の名称： 湘南鎌倉総合病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会 等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番 号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
放射線科	李 進	湘南鎌倉総合病院	統括部長	37	○	日本医学放射線学会・放射線診断専門 医 第18回徳洲会グループ臨床研修指導者 養成講習会(H25.3.3受講)	4	
放射線科	柴 慎太郎	湘南鎌倉総合病院	医長	13	○	日本医学放射線学会 放射線治療専門医 がん治療認定医 群馬大学医学部所属病院臨床研修指導 医養成講習会(R1.12.1受講)	4	
放射線科	村井 太郎	湘南鎌倉総合病院	部長	18	○	日本医学放射線学会 放射線治療専門医 名古屋市立大学病院臨床研修指導医講 習会(H28.1.10受講)	4	
病理	手島 伸一	湘南鎌倉総合病院	部長	47	○	日本病理学会認定病理医 日本臨床細胞学会細胞診指導医 TMR 地域医療尾臨床研修研究センター 臨床研修指導医講習会(H20.2.10受講)	4	
病理	中村 ハルミ	湘南鎌倉総合病院	部長	18	○	日本病理学会病理専門医・指導医 日本臨床細胞学会細胞診専門医・指導 医 日本病理学会分子病理専門医		

- ※ 「担当分野」欄には、様式A-10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。
 - ※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
 - ※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
 - ※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。
 - ※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。
- * 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
- * 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
- ※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
 - ※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。